

【NEWS RELEASE】

2022年5月12日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行カーボンクレジット取引プラットフォーム Carbonplace への参画について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、カーボンクレジット取引の決済プラットフォーム、“Carbonplace”（以下「本プラットフォーム」）に設立メンバーとして参画いたしましたので、お知らせいたします。

本プラットフォームは、気候変動問題の解決の促進およびボランタリーカーボンクレジット(*1)の活用、市場拡大を目的として、複数のグローバル大手金融機関によって開発が進められており、2022年12月の稼働開始を目指しております。扱われるカーボンクレジットは、国際的に認められた基準に基づき発行されたボランタリーカーボンクレジットで、本プラットフォームを通じ、クレジットの売り手と買い手は信頼性、透明性が確保された方法でカーボンクレジットを売買することが可能となります。

パリ協定の採択以降、グローバルにカーボンニュートラルに向けた動きが加速する中、企業によるGHG（Green House Gas）排出量削減の取組に加え、カーボンクレジットの活用に対する期待も高まっています。三井住友銀行は、国内外のお客さまが、質の高いカーボンクレジットに簡単にアクセスする機会を提供するため、本プラットフォームに参画することといたしました。また、本件は株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下「SMBCグループ」）が2022年4月に公表いたしました、サステナビリティ投資枠の第一号案件となります。

SMBCグループは、サステナビリティ関連のソリューションの提供、新たなサービス開発、およびノウハウ蓄積を目的として“SMBC Group GREEN Innovator”を展開しています。三井住友銀行はボランタリーカーボンクレジットの市場拡大および品質の向上を目的に活動するTSVCM(*2)に参加すると共に、経済産業省が推進する「GXリーグ(*3)基本構想」にもいち早く賛同する等、カーボンクレジットの活用を重要な脱炭素化ソリューションの一つとして位置付けています。

今後も“SMBC Group GREEN Innovator”のもと、カーボンクレジット取引の活性化やクレジット創出に向けた取組・支援を行い、サステナブルな社会の実現に向け、お客さまにより高度なソリューションを提供してまいります。

【ご参考】 Carbonplace の概要

所在地	英国（予定）
稼働開始時期	2022年12月（予定）
設立メンバー	BNP Paribas、CIBC、Itau Unibanco、National Australia Bank、NatWest Group、Standard Chartered Bank、UBS
主要業務内容	フィンテックを活用したカーボンクレジットの決済プラットフォーム

(*1) ボランタリーカーボンクレジット：カーボンクレジットのうち、民間の認証機関によって管理されるクレジットであり、主に民間企業の自主的な温室効果ガス排出量削減に活用される

(*2) TSVM (Taskforce on Scaling Voluntary Carbon Markets)：2020年9月に元イングランド銀行総裁、国連気候アクション・ファイナンス特使であるマークカーニー氏が中心となって民間セクターにおけるクレジット市場拡大を目的として設立したタスクフォース

(*3) GX リーグ：GX（グリーントランスフォーメーション）に積極的に取り組む企業群が、官・学・金で GX に向けた挑戦を行うプレイヤーと共に、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と市場の創造の実践を行う場

以上